

函館市活性化総合戦略評価対象施策調書 [平成28年度実績]

【内部評価の区分】
 A…実績(達成)
 B…一定の成果有
 (概ね達成)
 C…一部成果有(一部達成)
 D…成果なし(未達成)

【外部評価の区分】
 a:KPI達成に有効であった
 b:KPI達成に有効とは言えない

【今後の方向性の区分】
 ア…追加等更に発展させる
 イ…事業内容の見直し(改善)
 ウ…事業の継続
 エ…事業の中止
 オ…予定通り事業終了

※【交付金対象】は、地方創生交付金事業を表す。

H30.1.4時点

No.	基本目標	施策名	主要事業名	所管部	H28事業費 (単位:千円)	基準値(基準年度)		KPI(目標年度)		KPIの H28実績等	KPIに対する 内部評価	KPIに対する外部評価		今後の方向性	
						H28 事 業 内 容						事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	取組内容
1	1 経済を元気にする	国内プロモーション活動の強化		観光部	75,185	国内プロモーション実施回数 19回(H26)	国内プロモーション実施回数 累計100回以上(H31)	累計40回 (H28:16回)	A			イ		誘客のエリアやターゲットを絞り、それぞれのエリアにおいて交通手段や地域性などに応じた、より効果的なプロモーションを実施する。	
			北海道新幹線開業後イベント事業	企画部	40,750	JR函館駅前において、北海道内各地域の食や物産ならびに観光PRをテーマとしたロングランイベント等を開催した。	来場者数 延べ9.8万人								
			観光キャンペーン実施経費	観光部	21,084	函館観光PRのため、東北地区、首都圏や中部地区において、各種キャンペーンを実施した。	12回								
			観光宣伝印刷物等作成経費	観光部	13,351	函館観光PRのため、ポスターやパンフレットのほか、各種印刷物の作成・宣伝を行った。	11種類								
2	1 経済を元気にする	海外プロモーション活動の強化		観光部	41,494	海外プロモーション実施回数 13回(H26)	海外プロモーション実施回数 累計50回以上(H31)	累計25回 (H28:14回)	A			ウ	継続的なプロモーションを実施し、更なる外国人観光客の誘致を図る。		
			観光ポータルサイト管理運営事業	観光部	18,116	函館観光情報サイト「はこぶら」の運営を行った。 (H28:外国語ページの完全スマートフォン対応)	1,407万 ページビュー								
			海外観光プロモーション事業	観光部	23,378	本市に直行便が就航している台湾や中国などの東アジア、および東南アジアから外国人観光客の誘致を図るため、各国旅行博等への参加など各種プロモーションを実施した。	14回								
3	1 経済を元気にする	MICE、スポーツ大会・合宿等の誘致強化		生涯学習部	7,750	合宿誘致補助金交付実績 18件(H26)	合宿誘致補助金交付実績の増加 (H31)	46件 (H27:35件)	B			イ	多くのMICE主催関係者への積極的なPRのほか、合宿実績の少ない地域に対する誘致活動を行う。		
			観光部	MICE主催団体等誘致訪問件数 71件(H26)		MICE主催団体等誘致訪問件数 累計350件以上(H31)	累計109件 (H28:59件)								
			コンベンション誘致活動事業 (事業者招へい事業、インセンティブツアー含)	観光部	2,153	主要都市の業界団体や学術機関へ誘致活動を行ったほか、コンベンションを企画・運営する専門業者を招へいする事業等を実施した。	誘致実績 59件								
			スポーツ大会・合宿誘致推進事業	生涯学習部	5,597	スポーツ大会・合宿の誘致を推進するため、プロモーションおよび団体への補助等を実施した。	46件								
4	1 経済を元気にする	地場産業の活性化		経済部	17,141	デザイン戦略策定 2件(H26)	デザイン戦略策定 累計10件(H31)	累計2件 (H28:0件)	B			ウ	地場産業を活性化するため、継続して販路拡大などの事業に取り組んでいく。		
			【交付金対象】 食の産業化推進事業	経済部	10,000	「食」の魅力向上による交流人口拡大等を目的とした「食の産業化」のキックオフイベントとして、「はこだて美食フェスタ」を開催した。	来場者数 延べ8千人								
			農林水産物販路開拓等推進事業	農林水産部	1,112	函館産農水産物の高付加価値化および販路の拡大・確保を図るためのプロモーション活動等を行った。	プロモーション 5回								
			函館市アンテナショップの運営事業	経済部	3,674	(株)ローソンと連携し、首都圏のローソン店舗内に「函館市アンテナショップ」を設置することで、地元特産品の販売や観光情報の発信を行った。	年間販売 2657アイテム								
			食品産業販路拡大等支援事業	経済部	885	食品の販路拡大を図るため「インフォメーションバザールinTokyo」への出展について、公衆した企業6社のブース借上料等を支援した。	商談件数 306件								
			デザイン産業推進事業	経済部	1,470	市内中小企業団体を対象に、ビジュアルコミュニケーションPR活動を行ったほか、次期デザイン産業推進事業を検討した。	セミナー回数 5件								

函館市活性化総合戦略評価対象施策調書 [平成28年度実績]

【内部評価の区分】
 A…順調(達成)
 B…一定の成果有(概ね達成)
 C…一部成果有(一部達成)
 D…成果なし(未達成)

【外部評価の区分】
 a:KPI達成に有効であった
 b:KPI達成に有効とは言えない

【今後の方向性の区分】
 ア…追加等更に発展させる
 イ…事業内容の見直し(改善)
 ウ…事業の継続
 エ…事業の中止
 オ…予定通り事業終了

※【交付金対象】は、地方創生交付金事業を表す。

H30.1.4時点

No.	基本目標	施策名	主要事業名	所管部	H28事業費 (単位:千円)	基準値(基準年度)		KPI(目標年度)		KPIの H28実績等	KPIに対する 内部評価	KPIに対する外部評価		今後の方向性				
						H28 事 業 内 容						事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	取組内容			
5	1 経済を元気にする	新産業の創出	企画部	競争的資金の獲得 一円	30,569	競争的資金の獲得 4,500万円以上(H31)	6,827万円	A										
																		農林水産部
			企画部	4,640	コーディネーター1名を配置し、漁業者が求める技術課題を研究機関へ情報提供するなどの活動を行った。結果、研究資金獲得に向けた事業計画の立案や、見布の洗浄装置開発に繋がるなどの成果があった	事業計画の立案等												
			企画部	214	潮流海流を活用した再生可能エネルギーについて、全国的な状況把握を行った。(函館高専において、学術的な観点から研究を継続して実施した。)	情報収集活動												
			農林水産部	25,715	漁業生産現場における適切な生産管理のため、多層水温、流向・流速、塩分濃度を計測できるユビキタスデバイを設置し、市内沿岸部全域をカバーする水産基礎データの観測網の整備などを行った。	ブイ設置 4地点												
6	1 経済を元気にする	起業化支援	経済部	16,074	創業支援者件数 270件(H26)	創業支援者件数 累計1,400件(H31)	累計676件 (H28:322件)	A										
			経済部	7,074	中心市街地の指定した区域内にある空き店舗を活用する出店者に対して、家賃および改装費を補助した。	家賃1件 改装費7件												
			経済部	9,000	創業支援セミナーの開催や、創業資金の補助等を行った。	セミナー参加者 244名 助成3件												
7	1 経済を元気にする	企業誘致	経済部	298,664	企業立地件数 1件(H25)	企業立地件数 累計5件(H30)	累計7件 (H28:1件)	A										
			経済部	5,186	市内に立地するIT企業の立地初期段階における人材の確保および育成などに対する助成を行った。	2件												
			経済部	506	アンバサダーの紹介により、企業が市内視察を行った。 (※視察を行った企業のうち1社が市内に会社を設立し操業開始)	2社												
			経済部	1,853	広域的な事業連携推進を支援することにより、地元製造業の技術力向上や受注拡大に繋げ、地域経済の活性化を図った。	フェア等の 開催												
			経済部	1,358	産学官金が連携し、地域の産業と首都圏等の企業ニーズを結びつけるなどのため、意見交換会や視察研修受入事業等を実施した。	意見交換会 等の実施												
			経済部	289,761	H27年度に対象を拡充したことにより、補助金を受ける企業が増加した。 (H27:6件 → H28:11件[雇用増58名])	11件												
8	2 子どもたちと 若者の未来を拓く	安心して子どもを産み、 育てることができるまちづくり (ア)保護者への支援	子ども未来部	1,170,816	妊婦一般健康診査受診率 79.7%(H25)	妊婦一般健康診査受診率 95.0%(H31)	83.2% (H27:86.3%)	B										
			子ども未来部	88,328	地域放課後児童健全育成事業 47クラス(H26)	地域放課後児童健全育成事業 61クラス(H31)	59クラス (H27:56クラス)											
			子ども未来部	1,513	子育て相談・情報提供等の援助を行うことにより、地域の子育て支援機能の充実を図った。	子育て支援隊 利用件数 301件												
			子ども未来部	2,570	はこだてキッズプラザ内相談室において、保育士資格を持つ専任の相談員が子育てに関する相談等を行った。(H28.10からの新規事業)	相談件数 31件												
			子ども未来部	500,933	若い子育て世代の女性に対して、専門的見地から相談支援事業を実施し、妊娠前から子育て期にわたる切れ目のない支援を行った。	相談支援件数 1,689件												
			子ども未来部	577,472	利用希望が多い3小学校区の放課後児童クラブ各1クラスを増加し、保護者が昼間家庭にいない児童の安全・安心な居場所を確保した。	59クラス												
			子ども未来部	577,472	子育て世帯の経済的負担を軽減するため、中学校卒業までの医療費を助成した。	受給者数 22,059人												

函館市活性化総合戦略評価対象施策調書 [平成28年度実績]

【内部評価の区分】
 A…順調(達成)
 B…一定の成果有
 (概ね達成)
 C…一部成果有(一部達成)
 D…成果なし(未達成)

【外部評価の区分】
 a:KPI達成に有効であった
 b:KPI達成に有効とは言えない

【今後の方向性の区分】
 ア…追加等更に発展させる
 イ…事業内容の見直し(改善)
 ウ…事業の継続
 エ…事業の中止
 オ…予定通り事業終了

※【交付金対象】は、地方創生交付金事業を表す。

H30.1.4時点

No.	基本目標	施策名	所管部	H28事業費	基準値(基準年度)	KPI(目標年度)	KPIの	KPIに対する 内部評価	KPIに対する外部評価		今後の方向性	
				(単位:千円)	H28 事業内容	KPIの H28実績等	事業の評価		外部有識者からの意見	今後の方針	取組内容	
9	2 子どもたちと若者の未来を拓く	安心して子どもを産み、育てることができるまちづくり (イ)事業者への運営支援	子ども未来部	193,412	各種補助制度等の実施	各種補助制度等の充実(H31)	拡充等4件	A			ウ	引き続き、安心して子どもを産み、育てることができるまちづくりを進めるため、事業者への支援を行う。
			子ども未来部	50,685	市内にある特定教育・保育施設等が、国の定める必要な職員数を超過して、保育士、幼稚園教諭等を配置し、教育・保育の質の向上を図った。	38施設						
			子ども未来部	6,765	認可外保育施設が認可保育所と同様の保育環境が確保されるよう支援を行った。	3施設 60人						
			子ども未来部	135,962	保育所、幼稚園、認定こども園において、児童を一時的に預かる事業を実施する施設に対して補助を行った。	75施設						
10	2 子どもたちと若者の未来を拓く	安心して子どもを産み、育てることができるまちづくり (ウ)教育・保育の質の向上	学校教育部	68,034	アフタースクール実施箇所7箇所(H26)	アフタースクール実施箇所30箇所(H31)	14箇所(H27:11箇所)	B			ア	函館の歴史や現在の魅力などを再発見して正しく認識し、まちに対する誇りや地域愛を醸成することで、まちの魅力を向上・発信し、次世代に継承する役割を担う人材を育てる取り組みを進めるほか、引き続き、安心して子どもを産み、育てることができるまちづくりを進めるため、教育・保育の質の向上を図る。
			子ども未来部	3,753	放課後に子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進するため、小学校等の施設を利用して児童の健全育成を図った。	11小学校						
			学校教育部	60,388	市内小・中学校に在籍する発達障がい等の教育的支援が必要な児童生徒数の増加に伴い、特別支援教育支援員を配置した。	74人						
			学校教育部	1,398	市内の小学校に、放課後や長期休業中に児童の学習支援を行うアフタースクールを設置し、学力の一層の向上を図った。	14小学校						
			学校教育部	2,464	子育てを支援するための環境整備として、市立幼稚園において預かり保育を実施した。	延べ1,968人						
			学校教育部	31	ICT教育は、個々の児童生徒の学力向上に有効と考えられることなどから、H28年度には、全ての学級に実物投影機等を導入した。	全ての小・中学校に導入						
11	2 子どもたちと若者の未来を拓く	若者の就労支援	経済部	96,132	-	新規雇用創出累計298人(H29)	累計198人(H28:127人)	A			イ	事業内容を見直しながら、引き続き若者をはじめとした雇用の創出を図り、地元就職につながる取組を推進する。
			経済部	2,110	事業者等の雇用環境の向上を促進するため、若手社員職場定着率向上研修や労務状況調査などを実施した。	研修等の実施						
			経済部	92,956	国の認定を受けた地域再生計画に基づき、企業や求職者を対象とした研修講座や新商品の開発等に取り組んだ。(計画期間:H29年度末迄)	雇用創出127人						
			経済部	821	市外事業者の中心市街地への事務所新設を促進するほか、大学卒業者等の雇用の創出を図るための支援を行った。	家賃補助1件						
			経済部	245	就職希望の高校3年生に雇用の現状を理解してもらい、就業意識の向上および職場定着を図るため実施した。	参加者228人						
12	2 子どもたちと若者の未来を拓く	若者の交流の場の提供	経済部	1,037,704	若者が交流できる場1箇所(H26)	若者が交流できる場2箇所以上(H31)	1箇所	A			ウ	若者が交流できる場を整備する。
			経済部	1,037,704	中心市街地活性化基本計画に基づき、本町・五稜郭地区に、特に若い人たちが長時間滞在し、広く交流できる施設の整備を進めた。(H29.4月オープン)	整備中						
13	2 子どもたちと若者の未来を拓く	女性の就労支援	経済部	19,405	女性再就業者数20人(H26)	女性再就業者数累計100人(H31)	累計84人(H28:52人)	A			ウ	今後も継続して、女性の就労を支援する。
			経済部	14,499	再就業意欲のある女性に対して、就業に必要なスキルを修得させる研修やカウンセリングを実施した。	再就業者数52人						
			経済部	4,906	女性を含めた幅広い年代の求職者の就業促進のためのキャリアカウンセリングや各種セミナー、求人開拓を実施した。(北海道と共同設置)	就職者数393人						

函館市活性化総合戦略評価対象施策調書 [平成28年度実績]

【内部評価の区分】
 A…順調(達成)
 B…一定の成果有(概ね達成)
 C…一部成果有(一部達成)
 D…成果なし(未達成)

【外部評価の区分】
 a:KPI達成に有効であった
 b:KPI達成に有効とは言えない

【今後の方向性の区分】
 ア…追加等更に発展させる
 イ…事業内容の見直し(改善)
 ウ…事業の継続
 エ…事業の中止
 オ…予定通り事業終了

※【交付金対象】は、地方創生交付金事業を表す。

H30.1.4時点

No.	基本目標	施策名	主要事業名	所管部	H28事業費	基準値(基準年度)	KPI(目標年度)	KPIの	KPIに対する	KPIに対する外部評価		今後の方向性				
					(単位:千円)	H28 事業内容	KPIの	H28実績等		内部評価	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	取組内容		
14	子どもたちと若者の未来を拓く	大学の魅力向上		企画部	138	各校の収容定員充足率	収容定員内での充足率10%増加(H31)	増加2校(10%未満)	C			ウ	函館の大学などへの進学増の増加を図るとともに、卒業生が函館に残るための取組を推進する。			
			大学生との協働推進事業	企画部	138	大学研究のシーズと地域のニーズをマッチングさせるため、地域の大学と意見交換会を開催した。	参加企業等2社2団体									
15	市民の安全・安心を守る	地域包括ケアシステムの構築		保健福祉部	555,865	—	函館市高齢者保健福祉計画・函館市介護保険事業計画の着実な実施	各種実施	A			ア	福祉コミュニティエリアについては、平成29年度に施設が完成することから、今後は、地域の交流を深めるイベント等のソフト事業を展開し、生涯活躍できる地域福祉の実践に取り組む。			
			福祉コミュニティエリアの整備	保健福祉部	284,844	地域包括ケアシステムの構築や地域福祉の実践のほか、「生涯活躍のまち」構想にも期することから、エリアの整備に取り組んだ。	整備開始(～H29)									
			地域包括支援センター運営事業	保健福祉部	248,165	平成28年度から地域包括支援センターの設置数を拡張し、より地域に密着した事業を展開した。	センター設置数6→10か所									
			在宅医療・介護連携推進事業	保健福祉部	22,856	在宅医療・介護連携を推進するため、医療・介護関係者で構成する協議会での検討・協議を踏まえ、各取組を進めた。	協議会7回開催									
16	市民の安全・安心を守る	健康増進・生きがいづくりの推進		生涯学習部	211,009	高齢者対象大学学生数758人(H25)	高齢者対象大学学生数850人(H31)	933人	C			イ	市民等アンケートにおいて、市民の健康に対する関心が高いことから、引き続き、健康増進に関する取組を推進する。また、生きがいづくりにおいては、亀田地区における統合施設の整備に併せて、高齢者対象大学の事業全体のあり方について検討する。			
			保健福祉部	がん検診受診率【胃がん】4.6%(H26)		がん検診受診率【肺がん】13.2%(H26)	がん検診受診率【大腸がん】11.2%(H26)	がん検診受診率【乳がん】29.0%(H26)						がん検診受診率【子宮がん】33.4%(H26)	3.9%(H27:4.6%)	11.9%(H27:12.8%)
			亀田地区における統合施設の整備	生涯学習部	40,468	「亀田地区統合施設基本設計業務プロポーザル」による事業者の選定および基本設計の策定等を実施した。	事業者の選定等									
			高齢者サロン等運営事業	保健福祉部	30,920	誰もが気軽に訪れることができ、居心地の良い空間として、平成28年10月から棟二森屋アネックス6階に「ふらっとDaimon」をオープンした。	利用者数延べ16,444人									
			介護支援ボランティアポイント事業	保健福祉部	595	高齢者が行ったボランティア活動の実績に応じたポイントを付与し、換金する体制を構築することにより、高齢者の社会参加や地域貢献を積極的に奨励・支援した。	289人(H27:237人)									
			がん検診事業	保健福祉部	135,627	がんの予防および早期発見の推進を図ることにより、がんによる死亡率を減少させることを目的に実施した。	がん検診等の実施									
			高齢者対象大学の充実	生涯学習部	3,399	高齢者が楽しみながら知識や教養を身につけ、豊富な社会経験・人生経験を地域社会に活かすための学習の場を提供した。	学生数933人									
			17	市民の安全・安心を守る	公共施設の耐震化		都市建設部	33,010	対象となる公共施設の耐震化を順次実施	対象となる公共施設の耐震化を速やかに順次実施(H31)	90.0%(H27年度末)	B			ウ	公共施設の耐震化に加え、定期点検等により異常が認められた場合には、速やかに修繕等を実施する。
						学校施設耐震化等事業	生涯学習部	18,760	戸倉中学校屋内運動場の改築に係る実施設計、地質調査、測量調査を行った。	耐震化率89.5%						
						市民会館耐震化事業	生涯学習部	14,250	平成27年度の耐震等改修調査の結果をもとに、実施設計を行った。(H32.3月完了予定)	改修に向けた実施設計の実施						

函館市活性化総合戦略評価対象施策調書 [平成28年度実績]

【内部評価の区分】
 A…順調(達成)
 B…一定の成果有(概ね達成)
 C…一部成果有(一部達成)
 D…成果なし(未達成)

【外部評価の区分】
 a:KPI達成に有効であった
 b:KPI達成に有効とは言えない

【今後の方向性の区分】
 ア…追加等更に発展させる
 イ…事業内容の見直し(改善)
 ウ…事業の継続
 エ…事業の中止
 オ…予定通り事業終了

※【交付金対象】は、地方創生交付金事業を表す。

H30.1.4時点

No.	基本目標	施策名	主要事業名	所管部	H28事業費	基準値(基準年度)	KPI(目標年度)	KPIの H28実績等	KPIに対する 内部評価	KPIに対する外部評価		今後の方向性	
					(単位:千円)	H28 事業内容				事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	取組内容
18	4	まちの魅力をさらに高める	観光ブランド力の強化	観光部	120,419	地域ブランド調査 魅力度ランキング 1位(H26)	地域ブランド調査 魅力度ランキング 1位の取得(H31)	1位 (3年連続)	A			ア	既存の観光資源の維持・保存に努めるとともに、さらに磨きをかけることで付加価値を付けるなど、ブランド力を高める。
				企画部	223	函館のまち全体が、緑あふれる公園やオープンガーデンのような、見て、歩いて、感じて楽しい、美しいまちになることをめざし、「ガーデンシティ函館」の実現をめざしてを策定した。	方針策定						
				経済部	66,301	全国から観光客が訪れる観光スポットとするため、本市と縁が深い「GLAY」をモチーフとしたレリーフ等を整備した。(H29.4月オープン)	レリーフ等の制作						
				経済部	44,772	平成28年11月に中央病院前電停の整備が完了したほか、平成29年度に整備予定の松風町電停および千代台電停の実施設計を行った。	電停整備等						
				生涯学習部	1,003	北海道・北東北の4道県ならびに関係市町とともに連携しながら、世界文化遺産の正式登録をめざすための取り組みを進めた。(H28:函館市世界遺産登録推進室を設置)	国内推薦に向けた体制強化						
生涯学習部	8,120	耐震補強を含む保存修理工事等を行うにあたり、保存活用計画の策定および保存修理基本計画を作成した。	保存計画等の作成										
19	4	まちの魅力をさらに高める	観光客受入体制の整備	観光部	64,735	主要観光エリアでのWi-Fi環境の整備 未整備(H26)	主要観光エリアでのWi-Fi環境の整備 4エリア(H28)	4エリア	A			ウ	増加する観光客に対応するため、受入環境の整備を進める。
				観光部	102	観光ホスピタリティ向上事業	市民のホスピタリティの醸成を図るため、講演会を開催した。	参加者 91人					
				観光部	35,480	函館駅前広場イルミネーション事業	平成28年度は、更に内容を充実し、工作物を塗装することで、昼間の景色にも配慮したほか、約4万球相当のLED電球を追加した。	内容の充実					
				観光部	29,153	Wi-Fi環境拡大促進事業	近年、急増している外国人観光客の旅行中の利便性を向上させるため、無料のWi-Fi(無線LAN)環境を整備した。(駅前・大門、五稜郭、湯の川エリア等)	3エリアを整備					
20	4	まちの魅力をさらに高める	陸・海・空の交通網のさらなる充実	港湾空港部	113,457	国内航空路線数 7路線(H27)	国内航空路線の維持・充実および国際航空路線の新規開設を含む路線の充実(H31)	国内:8路線 国際:新規開設	A			ア	新たな国内LCCの誘致や新規国際線の開設に向けたトッププロモーションの実施など、路線の充実に向けた取り組みを進める。
				港湾空港部	101,667	大型旅客船ふ頭の整備	国の補正予算により、H28.10月に事業採択された後、調査および岸壁の設計・工事を行った。	要望活動の実施					
				港湾空港部	11,790	国際航空路線網の拡充	国際航空路線の定期便については、平成28年8月に台北線、12月には西安線が新たに就航した。	2路線拡充					
21	4	まちの魅力をさらに高める	公共交通の再編	企画部	124,825	路線バス利用者数の減少率が人口減少率より大きい(H22)	路線バス利用者数の減少率が人口減少率以下(H36)	A			ア	策定した「函館市地域公共交通網形成計画」に基づき取り組みを推進する。	
				企画部	124,825	バス路線網の再編等(ICカードの導入、交通拠点の整備を含む)	市電・函館バス共通の交通系ICカード導入を支援、および拠点整備に係る調査事業を実施した。						ICカードの導入等

函館市活性化総合戦略評価対象施策調書 [平成28年度実績]

【内部評価の区分】
 A…順調(達成)
 B…一定の成果有
 (概ね達成)
 C…一部成果有(一部達成)
 D…成果なし(未達成)

【外部評価の区分】
 a:KPI達成に有効であった
 b:KPI達成に有効とは言えない

【今後の方向性の区分】
 ア…追加等更に発展させる
 イ…事業内容の見直し(改善)
 ウ…事業の継続
 エ…事業の中止
 オ…予定通り事業終了

※【交付金対象】は、地方創生交付金事業を表す。

H30.1.4時点

No.	基本目標	施策名	主要事業名	所管部	H28事業費 (単位:千円)	基準値(基準年度)		KPI(目標年度)		KPIの H28実績等	KPIに対する 内部評価	KPIに対する外部評価		今後の方向性	
						H28 事業内容		KPI(目標年度)				事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	取組内容
22	4	まちの魅力をさらに高める	歴史的建造物等の適正維持	都市建設部	32,255	伝統的建造物 75件(H26)		伝統的建造物の維持 (H31)		77件	A			ウ	引き続き、歴史的建造物の適正な維持・保全に努める。
						景観形成指定建築物等 48件(H26)		景観形成指定建築物等の維持 (H31)		48件					
						都市建設部	4,547	歴史的建造物を適正に維持するため、老朽度などの保全調査を実施した。		12件					
						都市建設部	25,708	伝統的建造物の修理等を実施した。		修理等7件					
						都市建設部	2,000	景観に配慮した住宅の新築等を奨励した。		新築1件					
23	4	まちの魅力をさらに高める	移住者・定住者の誘致	企画部	5,435	過去5年間の移住件数の年平均 13組(H22~26)	移住件数 累計90組以上(H31)	11組 (H27.2組)	C			ア	引き続き首都圏での情報提供を行うほか、移住に繋がる施策を行っている各部局の事業と連携しながら移住施策の見直しを行い、新たな移住者の掘り起こしに努める。		
				企画部	1,990	ふるさと回帰支援センターでの展示パネルブースの設置や移住検討者向けパンフレットの作成・配布のほか、移住体験事業等を実施した。		移住体験 23組							
				経済部	3,445	就職ポータルサイト「函館しごとネット」を開設したほか、IJUターン就職相談会を首都圏において開催した。		【登録者】 求職者71人 求人企業58社							
24	5	広域連携を強化する	広域連携の強化	観光部	8,524	本市の平均宿泊数 1.17泊(H26)	本市の平均宿泊数 1.28泊(H35)	1.21泊 (H27:1.18泊)	A			ウ	今後も更なる観光入込客数の増加や宿泊数を伸ばすため、連携を図りながら各地域への周遊性を高め、滞在型観光への推進に取り組む。		
				企画部	445	道南の18市町で形成する南北海道定住自立圏の中心市として、共生ビジョンに基づいた各種連携事業を推進した。		懇談会 2回開催							
				観光部	7,250	青森市・弘前市・八戸市・函館市の4市を巡る旅をテーマとした周遊キャンペーン「青函圏周遊博」を開催した。		青函圏周遊博の 開催等							
				観光部	829	「Goo-Route Hakodate」の内容を更新し、函館を中心とした新たな周遊ルート等の造成に努めたほか、「はこだて旅するパスポート」を作成し、滞在型観光の利用促進を図った。		パンフレットの 作成等							